

国際シンポジウム

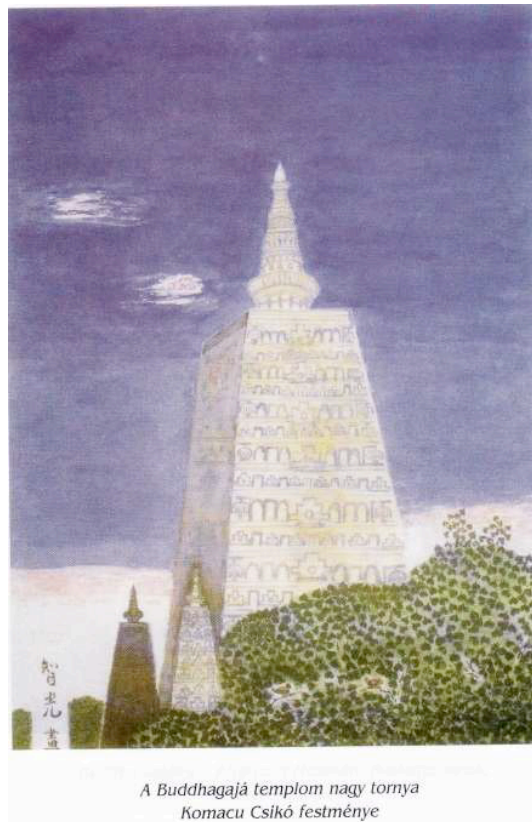
「仏教における信」

2013年10月26日（土）～27（日）

エトウェシ・ロラード大学文学部 大会議室

共催：

エトウェシ・ロラード大学 東アジア研究所
大谷大学 真宗総合研究所



後援：小松智光基金

プログラム

2013年10月26日(土)

10:00-10:30 開会式

司会：ハマル・イムレ教授 (ELTE 東アジア研究所教授)

歓迎のことば：エルデュディ・ガーボル教授 (ELTE 国際担当副学長)

デゼ・タマース教授 (ELTE 文学部長)

山本忠道大使 (ハンガリー駐在日本国大使)

シンポジウム

午前の部 司会：ハマル・イムレ教授

1. 10:30-11:00

開会の辞：木村清孝教授 (鶴見大学学長)

「仏教学の意味と視座：特に信に関して」 (以下、発表 20 分質疑 10 分)

2. 11:00-11:30

織田顕祐教授 (大谷大学、仏教学科)

「『大乘起信論』における信」

3. 11:30-12:00

ヒダス・ゲルゲリー博士 (ELTE 印欧学科講師)

「原始密教 (タントラ) の伝統における信」

(昼食：12:20-14:20)

午後の部 1 司会：バータラン・アグネス准教授 (ELTE 内アジア学科主任)

4. 14:30-15:00

トース・エルゼベト博士 (ELTE 内アジア学科講師)

「『菩提道次第 (ラムリム)』に論じられるチベットの「信」の概念」

5. 15:00-15:30

ペーター・アレクサ博士 (ELTE 内アジア学科)

「チベットのカダム派の伝統における信に関する二つの基本的文献」

6. 15:30-16:00

パップ・メリンダ博士 (ELTE 中国学科)

「湛然の『金剛錍論』における信の概念」

(コーヒー・ブレイク：16:00-16:30)

午後の部 2 司会：ハマル・イムレ教授

7. 16:30-17:00

コーシャ・ガーボル博士 (ELTE 中国学科講師)

「仏教伝来以前の中国における信の背景：『論語』と『道德経』における信の概念」

8. 17:00-17:30

池 麗梅 准教授 (鶴見大学仏教文化研究所)

「中国仏教史における行としての死の選択：『続高僧伝』に注目して」

18:00-20:30 歓迎晩餐会 XO レストランにて

2013年10月27日(日)

午前の部 司会：ヒダス・ゲルゲリー博士

1. 9:30-10:00

ハマル・イムレ教授

「華嚴仏教における行と信」

2. 10:00-10:30

ゲルゲリー・ガブリエラ (ELTE 中国学科博士課程)

「法成の哲学における信の概念」

3. 10:30-11:00

井上尚実博士 (大谷大学 真宗学科准教授)

「他力の信の系譜：釈尊から親鸞まで」

4. 11:00-11:30

ロバート・F・ローズ教授 (大谷大学副学長 仏教学科)

「源信の浄土教における信」

(昼食：12:00-13:30)

午後の部 1 司会：ロバート・F・ローズ教授

5. 14:00-14:30

木村清孝教授

「道元の思想における信と悟り：禅の系譜における帰結として」

6. 14:30-15:00

藤嶽明信教授 (大谷大学 真宗学科)

「親鸞が明らかにした信心—如来回向の信心—」

7. 15:00-15:30

マイケル・コンウェイ博士 (大谷大学 真宗学科講師)

「信の対象ではなく主体としての法蔵菩薩：近代真宗教学における阿弥陀因位の再解釈」

(コーヒー・ブレイク：15:30-16:00)

午後の部 2 司会：井上尚実博士

8. 16:00-16:30

バータラン・アグネス博士

「信の具象化：モンゴル民衆仏教の例から」

9. 16:30-17:00

パップ・メリンダ博士 (ELTE 日本学科)

「信の概念と現代日本における宗教意識の特質」

10. 17:00-17:30

キス・モニカ (ELTE 日本学科博士課程)

「聖なる場としての仏壇を通じた家庭における祖先崇拝」

11. 17:30-18:00

シンポジウムの総括と今後の展望：

木村清孝教授、ロバート・F・ローズ教授、ハマル・イムレ教授

閉会の辞：ロバート・F・ローズ教授

19:00-21:00 サヨナラ晚餐会 XO レストランにて